

心血管系疾患の運動療法

浦田 ^{うらた} 秀則 ^{ひでのり} 福岡大学筑紫病院・内科第一 教授

キーワード 高血圧、虚血性心疾患、心不全、レニンアンジオテンシン系

研究概要

各種生活習慣病（高血圧・高脂血症・糖尿病・肥満）や心血管疾患患者に軽強度運動療法を施行し、心血管疾患の一次及び二次予防を目指す。

研究内容及び今後の展望

軽強度運動療法を従来の治療法に加えることにより高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満に加え、心筋梗塞後、心不全、心臓疾患術の等の患者の一次及び二次予防に対する効果を研究している。基本的には、福岡大学スポーツ科学部との共同研究である。

研究適用分野・用途

人口の老化に伴い増加する心血管系疾患の発症を少しでも減少させることは、医療費の面、日常生活における患者QOL、ADLの改善に重要なテーマである。今後、我々が大学で行っているような運動療法をいかに簡便に家庭や地域社会で行えるようにするかが将来の課題である。単なる医学的側面のみならず、リハビリテーションなどの機能回復なども包括した社会的側面を持ったプログラムにしたい。

研究設備	ヒトキマーゼ遺伝子導入マウス・臨床サンプルのキマーゼ活性測定（アンジオテンシンⅡ産生酵素活性）及び遺伝子発現量の分析
企業に対する 二 一 ズ	<input checked="" type="checkbox"/> 共同・受託研究の相手 <input type="checkbox"/> 試作に協力する企業 <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果の事業化のパートナー <input type="checkbox"/> その他（ ）
特許取得状況等	有 (無)